



—町のスローガン—

豊かな自然みんなで

拓く町 伸びる町

- 仮称・郷土文化伝創館構想… 2・3
- 成人病は習慣病…………… 4・5
- 町長の中国訪問日記③…………… 6
- まちの話題…………… 7
- みんなのひろば…………… 8・9



広報

がんばれ雪ん子
雪ん子ふれあいの集い開催

「第3回雪ん子ふれあいの集い」が1月13日東中サッカーグラウンドなどを会場に開かれ、小学4年生以上中学3年生までの約350人が参加しました。今年は暖冬で雪が10センチ余りと少ないうえ、あいにくの雨に見舞われましたが、子供たちはこれにめげず、ウインタージャンボクイズ、騎馬戦、箱ゾリレースに歓声を上げ体力を発散させました。
(写真・箱ゾリレース)

2月

いがしゆり

No. 395

題字 / 佐々木青洋氏（東由利町出身）

お知らせします！

仮称 郷土文化伝創館構想

町では、町過疎地域振興計画（昭和五十九年十二月策定）、町開発基本構想（昭和六十年三月策定）に基づき、郷土資料館の建設について検討してまいりましたが、今年度半ばまでに建設の基本構想案がまとまり財源の目途もつきました。このため、「仮称・東由利町郷土文化伝創館構想（案）」として町議会の全員協議会に素案を提示し協議を重ねてきており、この素案に理解が得られれば建設したい方針で、現在更に検討を加えています。

「仮称・東由利町郷土文化伝創館」は、古代文化の伝承をはじめ、将来にわたり社会教育の場にご利用できるよう、町の誇れる施設として建設するものです。

この施設が真に町民に親しまれ、有効に利用されることで、今後の町活性化につながることを期待される事業計画であることから、町民のみなさんにご理解いただき、このことから今号では同構想（案）の概要についてお知らせします。

郷土文化伝創館（仮称）とは

東由利町には、有史以前の姿から現代までの文化遺産として、特色ある地層を始め、湯出野遺跡など多くの遺跡があります。特に湯出野遺跡などで発見された百三基に上る墓こうや出土品は、学術的にも貴重な資料として県内外から注目を浴びています。

また、古くからの生活用具や農具などのほか、先人が遺した古文書など多くの民俗資料もあり、これら一部の収集・保存も行われています。

郷土文化伝創館は、こうした貴重な文化遺産を保存、収集展示、伝承することによって、住民の歴史、文化の学習の場とし、郷土理解と町づくりの寄与することを目的として考えているものです。

先端技術を活用し わかりやすく演出

東由利町は農業、林業を中心に長い歴史を重ねてきました。このため展示構想は、各産業の民俗資料を含め、「町の歴史と民俗」及び「縄文の村」の二つをメインテーマとし次のことを基本に考えています。

●展示は、現在収集・保存されている資料を十分に分類、検討すると共に、さらに所要のものを収集して内容を充実、テーマにふさわしい配置をします。また、イラスト、写真、映像、模型、図表などを効果的に取り入れ、さらにはビデオ、特殊音響、映像などでドラマチックに演出し、小学生でも十分理解できるように配慮します。このため用字用語は簡潔平明なものとし、かつ学問的正確さを失わないようにしていきます。

●展示物のうち、解説システムの案内、映像、模型、ジオラマ等については、すべて利用者が自分で操作できるよう工夫します。

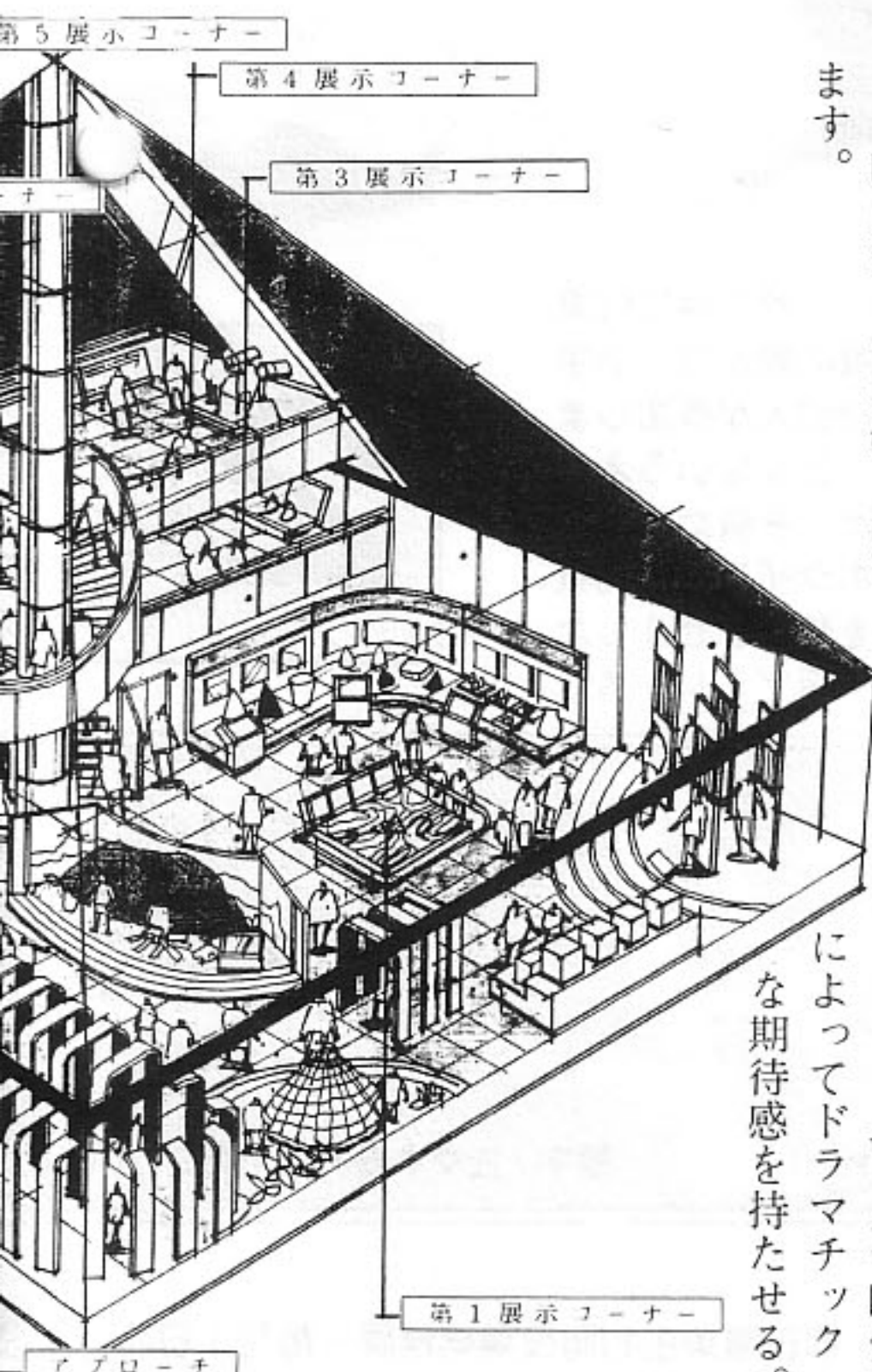
●展示を通じ、町の中に息づく文化・伝統の大切さを知ってもらうと共に、長い歴史を通じて培われてきた東由利町固有の文化伝統を慈しむ心を養ってもらえるよう、解説に工夫を凝らしていきます。

特産品・工芸品の展示や スカイビジョンの設置も

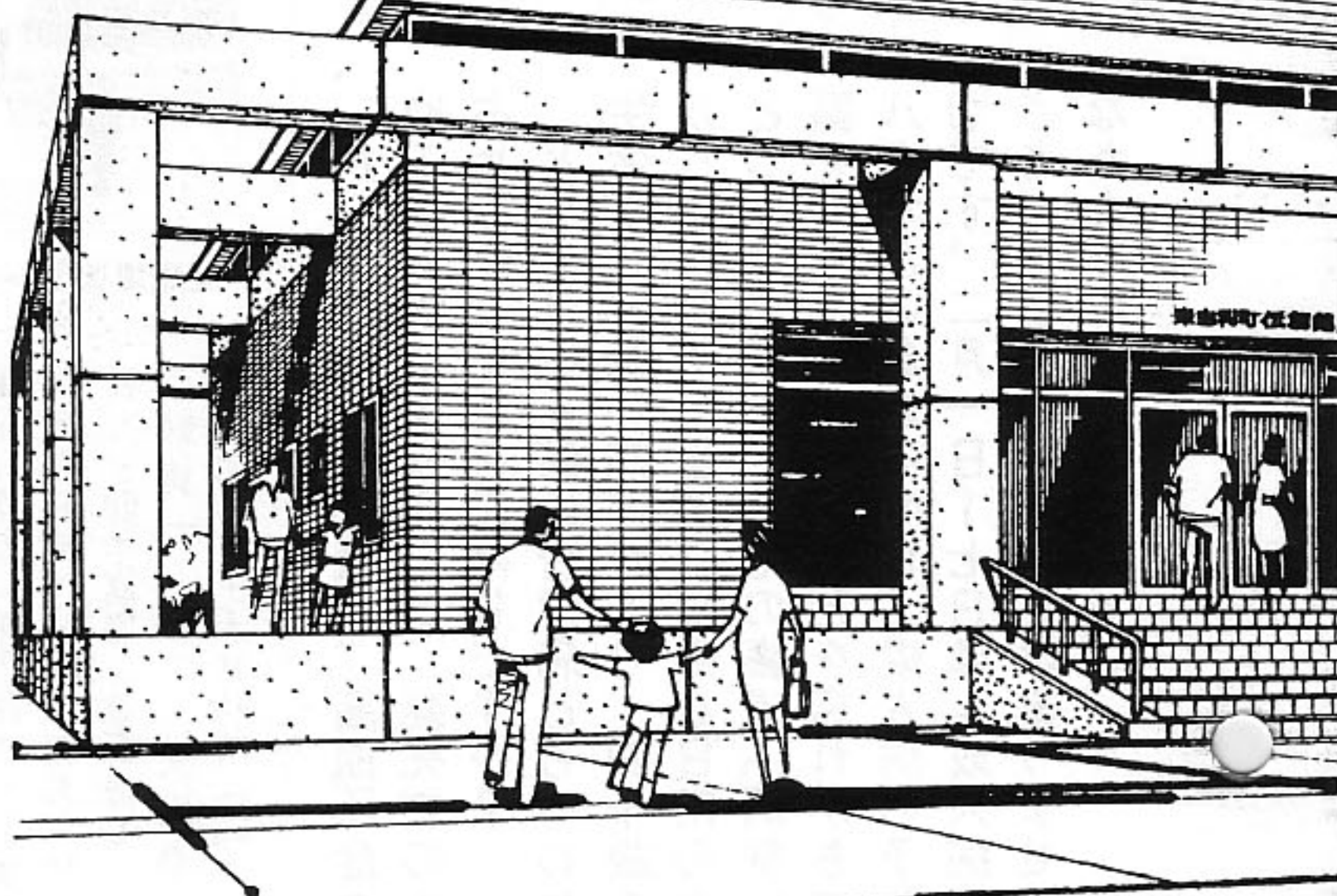
施設内は次の8コーナーで構成し、利用者が無理なく溶け込み、ストーリーを追いやすいように時計廻りの動線を設定します。

アプローチコーナー

現代から過去へのタイムトンネルをイメージし、音と光・映像によってドラマチックな期待感を持たせる。



●郷土文化伝創館構想
施設外観 (案)



第1展示コーナー

「東由利町・縄文の村」をテーマに、町の史跡と自然的特色を紹介する。

①史跡の紹介▽湯出野遺跡の墓こう群鳥かん図、表面模型、断面模型、縮尺図、発掘出土品、遺跡包含断面層面模型図▽片符沢遺跡の土器類、石器類、土偶▽その他の遺跡の発掘物、説明図▽竪穴住居と人物の模型など。

②町の自然的特色の紹介▽東由利町が現在の地勢になるまでの経緯を図解▽須郷田層・畑村層の成因の解説、模型▽特異な地層のもとにできる代表的な珪化木類の成因と経緯の解説、写真▽祝沢、大吹川などにみられ

第2展示コーナー

町の歴史や風俗の特色及び現況を紹介する。

①古文書や記録物など町の歩みを総括的に理解できる、歴史的資料の展示▽天正一八年の下村知行安堵状、慶長一八年の検地帳、牡丹野新田水論、同絵図面などの古文書・古記録▽保呂羽山波宇志別神社のさい銭箱、什器、遺物、錫杖など▽旧街道・番所、神社仏閣、館跡見取図、横荘鉄道の歴史などの資料

②すぐれた先人の資料を展示▽小松耕輔音楽兄弟の遺品、楽譜、著書、手紙類▽馬産関係の資料など。

第3展示コーナー

古くからの農家の生活用具、農具などを展示する。

①農家の間取りの一部(茶の間、居間、台所、土間など)
②農家の人(祖父母、父母、子供など)の人形
③什器、生活用具、農耕用具類
④民話、昔語りスペースの設置
その他、衣、食など

第4展示コーナー

写真や映像などで町勢を紹介する。また、スカイビジョン(眺望)スペースと休憩スペースを設ける。

第5展示コーナー

町の名所・旧跡の紹介と、名産品、工芸品を展示する。

「縄文の村」をイメージした3階建の施設

仮称・郷土文化伝創館は、自然の景観と調和したユニークな構造で、湯出野遺跡が縄文時代のものであることから「縄文の村」としてのイメージでデザインしています(図参照)。

施設構造は鉄筋コンクリート三階建て、一階にアプローチ、第1及び第5展示コーナー、カルチャーコーナーなど、二階に第2及び第3展示コーナー、ミニシアター、三階に第4展示コーナーが設けられ、各階へは建物中央のらせん式階段でつなが

●郷土文化伝創館構想
施設内観 (案)

カルチャーコーナー

サークル活動、創作活動、セミナー等交流の場など、多目的スペースとして活用する。

ミニシアターコーナー

遺跡発掘のドキュメンタリー、先人の紹介、史跡めぐり、東由利町の四季などを、スライドやビデオで紹介する。

建設地には台山を選定

つています。また、緑の豊かな町にふさわしいようにと、木材がふんだんに使われます。

施設の建設地(案)には本町の文教地帯である台山を選びました。ここを選んだ理由として
◎合理的運営が期待でき、施設の性格上ふさわしい場所である。
◎社会教育施設として将来的にも利用しやすい。
◎国道に近く、町民のみならず町外の人々も利用しやすいなどがあげられます。

財源は「まちづくり特別対策事業」を活用

建設のかなめとなる財源については、起債(借入金)の元利償還金のうち五五割を国が援助する「まちづくり特別対策事業」を活用する目途がつけられています。建設費には一億三千万円余りが見込まれていますが、同事業の活用により実質的な町の負担は約三〇割の四千万円となっています。

以上、仮称・郷土文化伝創館構想の概要をお知らせしてきましたが、町では町議会や町民の理解を得るために更に努力を重ね、理解が得られれば新年度予算に計上したいと考えています。まちづくりの拠点としての活用が期待される同施設が、早期に着工できるよう、町民のみなさんのご理解とご協力をお願いいたします。また、同施設についてご質問やご意見をお持ちの方は町教育委員会 ☎六九一二三一〇までご連絡ください。

習慣病

がん、脳卒中、心臓病、高血圧症などの、いわゆる成人病による死亡が、総死亡の六五割近くを占めていることをご存じですか？

とりわけ成人病は習慣病ともいわれ、長い間の生活様式と深い関連があり、四十歳を過ぎたところから急増しています。平穏な日常の中にどっぴりとつかっていると、その裏で「病気」や「死」が顔をのぞかせていることを忘れがちですが、人生八十年といわれる今日、成人病の予防は何より大切です。二月一日～七日は『成人病予防週間』――さあ、いまからでも遅くはありません。ぜひ、あなたなりの健康づくりを！

大切なのは正しい食生活

昨日までバリバリと働いていた五十歳の人が高血圧で倒れた場合、その原因となる高血圧などの病気の芽は、すでに二十～三十歳代にはあったといわれます。こうした病気の芽をもっている人が、日常の不健康な生活習慣を続けると、これが引きがねとなって、病気の発生につながるといわれています。

とくに大切なのは、正しい食生活が行われているかどうかです。そのキーポイントをおいてみましょう。

●栄養のバランスを考えて

炭水化物、脂肪、タンパク質、ビタミン、ミネラルといった栄養素を十分にとりましょう。

●塩分をとりすぎないように
とりすぎると、高血圧や脳卒中の原因に。一日十グラム以下を目標に、調理の上でも工夫を。

●コレステロールをためすぎないように
コレステロールは悪者というイメージがありますが、一方では体には欠かせない大切なものです。コレステロールをコントロールするために、バランスのとれた食事を心がけましょう。

ゆとりをもった健康づくりを

イライラ、カリカリして精神的なゆと



健康増進センターで行われた出初式

新春恒例の出初式が一月六日健康増進センターで行われ、町消防団員をはじめ二百人が参集し今年一年の無火災を祈願し合いました。席上、消防活動に功労している消防団員に表彰状が、昨年退職された消防団員や消防用地協力者などに感謝状が県知事や県消防協会長、町長などから贈られました。受賞者は次のとおりです。(敬称略)

秋田県知事表彰

- ▼二十五年勤続章・小松正武(第一分団長)
- ▼二十年勤続章・畠山与一(第一分団員)・阿部善孝(第四分団長)

秋田県消防協会長表彰

- 大庭善一郎(同)・高橋孝次(同)
- ▼同(十年)・横山武男(第一分団員)・斎藤真一(同)・高橋定敏(第二分団員)・小松忠孝(同分団員)・小野泰好(同)・小松久安(同)・小松文雄(同)・畠山昭一(第三分団員)・伊東剛(第四分団員)・小笠原慶照

東由利町消防団長表彰

- ・阿部寛二(同)・小野源一(第三分団員)・小笠原慶照(第四分団員)・阿部昌史(同)・遠藤謙一(同)・小松君悦(同)・小野一成(第五分団員)・大庭忠幸(同)

東由利町長感謝状

- ▼乙種精勤章・佐藤政雄(第一分団員)・木島成寿(第四分団員)・小野一(同)・阿部誠(同)・梅津正明(第五分団員)・小野栄(同)・遠藤久(同)・小野俊弘(同)

消防 春一番無火災を祈願

- ▼功労章・小松正武(第一分団長)
- ▼勤続章(十五年)・高橋誠一(第二分団長)・遠藤典(同分団員)・小松利和(第三分団長)・長谷山清志(同分団員)・工藤実(第四分団長)・阿部義夫(同分団員)・鈴木富男(第五分団長)・小野真一(同)・大庭幸夫(同分団員)・大庭時晴(同)

東由利町長表彰

- ▼模範団員・横山武男(第一分団員)・小松忠孝(第二分団員)・小野泰好(同)・小松文雄(同)

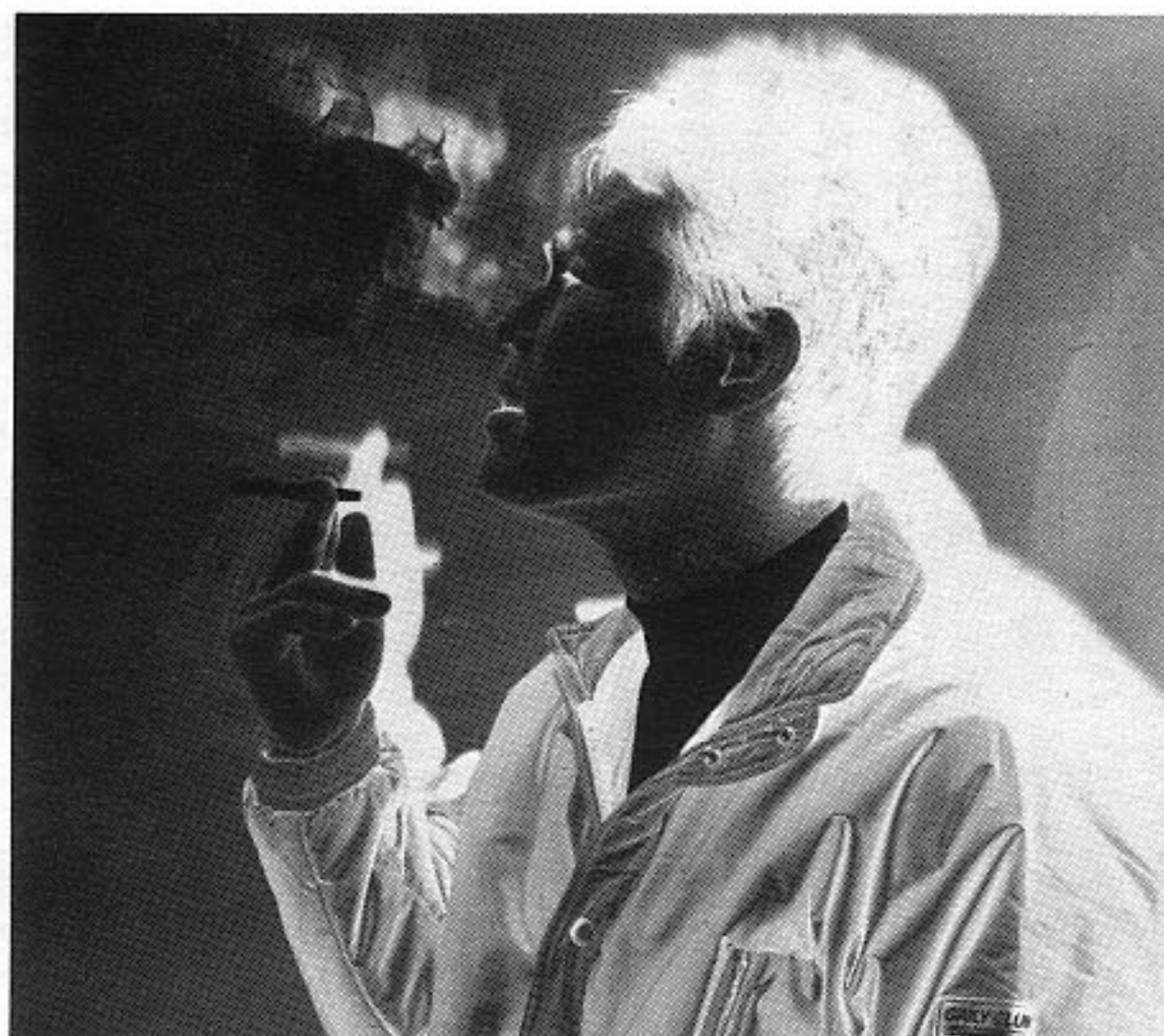
- (同分団員)・阿部法久(同)・石綿喜代隆(第五分団員)・大庭信弥(同)・浅田誠(同分団員)・阿部譲治(同)・阿部一久(同)・木島博(同)・畠山和雄(同)

- ▼退職団員・佐藤正志(前分団長)・佐藤良一(前分団員)・渡辺等(同)・嶽石伊久雄(同)・小野武志(同)・遠藤憲一(同)・小野啓二郎(同)・工藤辰也(同)・阿曾惣一(同)・小松久安(同)
- ▼消防施設用地協力者・鈴木和夫(沼)・小野弥右衛門(上里)・嶽石伊左衛門(山崎)・小野弘(下通)・高橋一男(杉森)
- ・佐藤徳市(八日町)

本庄地区消防事務組合 管理者表彰

成人病は

長年の生活様式を
チェックしてみよう



がんを招く喫煙も、習慣病のひとつ

りが無いのは、不健康のバロメーター。アルコール、たばこも上手なおつきあいを。

お酒

酒は百薬の長といわれ、心身をリラックスさせますが、飲みすぎは肝臓障害や消化器の病気の元となります。そこで――

- 週に二日は休肝日を
- 飲食時にはタンパク質や野菜をとりましょう

● 楽しく飲み、適量で抑える努力を

たばこ

喫煙をすると、一般的にがんになります。たとえば吸わない人に比べて、こう頭がんは約十四倍、気管支・気管・肺がんは約三・八倍の危険が増すというデータも報告されています。禁煙の実践はお子さんの「防煙」にもつながります。

ストレス

ストレスをためこまないことが、成人病を予防するためには欠かせないことです。そのためには次のような点に気をつけたいものです。

- 適度な運動・スポーツを
- うちこめる趣味をもとう
- 家族や友人との会話を大切に

根気よく続けることが第一

健康診断の目的を大きく分けると、自覚できない潜伏している病気を発見すること、そして将来、病気に発展するかもしれない身体的条件があるかどうかをチェックすることの二つになります。

どんな病気でも、早期発見、早期治療が肝心です。

そして自分の健康管理を根気よく続けることが、成人病予防にたいへん有効なのです。

町出身の遠藤章教授(東京農工大学)が 西独・ウィーラント賞受賞

本町小倉出身で東京農工大学農学部教授の遠藤章氏(54歳・東京都杉並区宮前三丁目二の一九)が、このほど西ドイツのウィーラント賞を受賞しました。

同賞は一九二七年にノーベル化学賞を受けたドイツの有機化学者ハインリヒ・ウィーラント博士の功績を記念して設けられ、毎年一、二名の脂質関係の研究者に贈られているもので、受賞者の中にはノーベル賞受賞者が多く権威ある賞とされています。

遠藤教授は、老酒や紹興酒の製造、食品の着色などに使われている「紅こうじ菌」などから、人体の健康と関係が深い数種類のコレステロール合成阻害物質を発見、これがコレステロール低下薬の画期的な特効薬として実用化され、動脈硬化と心臓病の予防・治療に大きく貢献したことが高く評価されたものです。

同賞の受賞は日本人としてはまだ二人目で、遠藤教授は昨秋西ドイツ・ミュンヘン大学で開かれた授賞式に出席、栄えある賞状と記念メダルを手に入れました。

遠藤章氏略歴▼昭和24年旧下郷中学校卒。本庄高校定時制下郷分校を経て同28年秋田市立高校卒。同32年東北大学農学部卒。三共株式会社を経て昭和54年東京農工大学農学部に移り、現在同教授。



一緒に受賞した西ドイツガンセンターのケプラー教授(右)と記念メダルを手に入れた遠藤教授(左・ミュンヘン大学にて)

米需給均衡化緊急対策数量が新設

事前売渡申込限度数量の減少分 2,177俵に対応

- 六十三年度転作等目標面積などの配分がこのほど県から内示されました。これによると、転作等目標面積は前年同、事前売渡申込限度数量は前年より二千七百七十七俵の減となりました。しかしながら今年から新設された米需給均衡化緊急対策数量で、事前売渡申込限度数量の減少分と同じ二千七百七十七俵が配分、同限度数量の減少分はこれで対応していくことになります。町ではこれらの農家への配分方法について現在検討中です。
- 転作等目標面積及び他用途利用米
62年度の配分と同様 246ha
(内、他用途利用米 1,898俵/60kg)
 - 事前売渡申込限度数量
69,175俵/60kg (62年度より 2,177俵/60kg減)
 - 米需給均衡化緊急対策数量(新設)
 - ① 他用途利用米 985.5俵/60kg
 - ② その他 1191.5 〃
 - 合計(①+②) 2177 〃

町長の

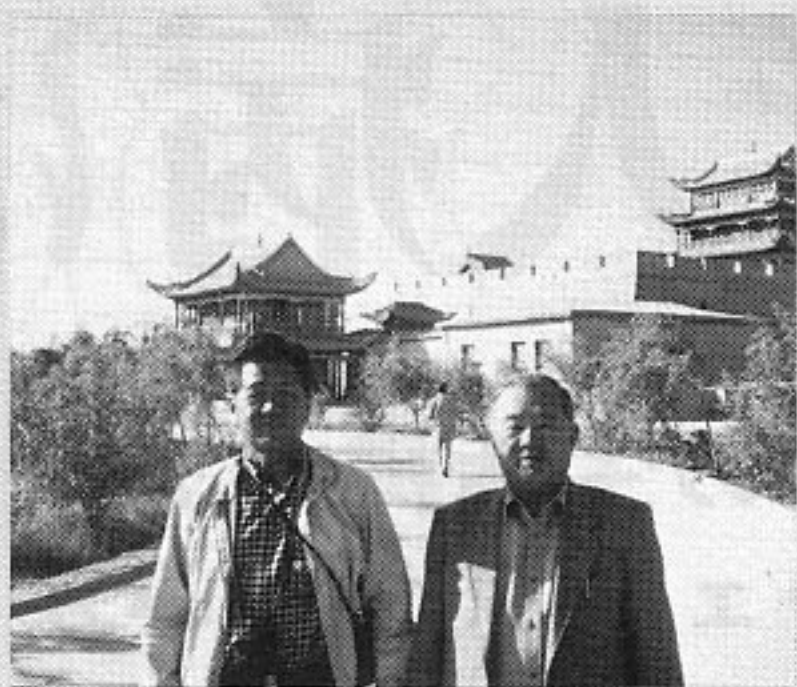
中国訪問日記

③

酒泉から再び蘭州へ

— 中国農業の近代化進む —

■10月7日・今日は中秋の名月の夜である。中国ではこの日を「中秋節」といい、祭日である。朝食の卓上には月餅が出ていた。これは中秋の名月を祝う菓子である。通訳に日本でも「中秋の名月の夜」を楽しむことを教えてやると「日本と中国同じ」と喜んでくれた。午前九時ホテルを後に嘉峪関に向かう。途中両替のため中国銀行に立ち寄るが入口の「儲蓄」の表示がおもしろい。これは文字通り儲けたら蓄えるという意味で日本の貯蓄奨励の表示である。途中甘肅省という酒泉中学校の前を通る。生徒数五千人という桁外れの規模であるが高等科(高校)も含



万里の長城の西端、嘉峪関を訪ねる

まれているという。この地区の生活用水、農工業用水は標高五千九百二十五メートルの折連山から流れ出る雪解け水である。酒泉は海拔千六百メートルの高地にあるが雪は積もらない。農業中心の町で金持ちが多いという。見た感じからも住民生活はかなり豊かになりテレビを持つ家も多い。東芝、三洋のメーカーに人気があるという。九時四十分嘉峪関到着。ここは万里の長城の終点西端の砦である。高さ十七メートルの城門や城内を見学し当時の築城技術に感心させられる。四百名の城兵が守備にあたっていたといわれる。午後は農業で成功したバス自営業に転じて実業家となった巴吉栄氏(三十八歳)宅を訪ね近代化する中国の実例を見る。そのあと小学校、幼稚園、酒泉公園を視察。小学校は昨年竣工したばかりの新しい校舎。地区住民がお金を出し合って建てたもので私立の小学校であると聞いて驚かされた。昨夜の酒泉市の歓迎会席上で農村地帯は金持ちで教育熱心であるという説明があったが、ここを見学してうなずかされた。このあと国立(省立)幼稚園を見学。十四学級に七百人というマンモス幼稚園だ



詩人李白を偲ぶ酒泉公園
一月下独酌の詩碑がある

が、授業は整然とし日本とはいささか違った教育ぶり。幼児教育に力を入れる新しい中国の姿を見せつけられた思いだった。酒泉公園では有名な李白の詩碑の前に立つ。「月下独酌—李白—」天若不愛酒、酒星不在天。地若不愛酒、地庭無酒泉」と刻まれている。「天が若しお酒を愛さなければ神様は天にあらじ。地が若しお酒を愛さなければ地庭に酒泉はない」という意味。この詩に李白を偲びつつ酒泉公園を散歩する。酒泉賓館で酒泉市最後の夕食をとった後午後八時ホテルを出発。砂漠の上空にかかる中秋の名月を眺めながらバスで嘉峪関空港に向かう。私どものための臨時便の飛行機が用意されていた。日本では考え

られないことである。

■10月8日・蘭州市につき寧臥荘賓館に到着したのは午前一時の真夜中。午後ホテルを出て甘肅省博物館を見学する。世界でも有名な博物館で原始社会や奴隸社会の出土品がそのまま保存されていた。この後蘭州製材企業公司を訪れた。ここには県と州との友好提携にもとづいて秋木機械(能代市)から製材機三台が導入されていた。今日はこの活動状況を視察し友好を深めた。午後五時ホテルに帰る。夕食には甘肅省外事公弁室秘書長らが会食してくれた。会食のメニューは野菜中心のもの。私どもに気配りがみられ、限らない友情と感謝に満ちた会食であった。

■10月9日・昨夜はAKTテレビ取材班が蘭州市内に出かけた。デイスコの取材に出かけた。上海にはできたか聞いていたデイスコが、蘭州市にも出た。これは、中国の民主化の波が国内に深く及んでいることを意味する。八時半ホテルを出発。バスで西北民族学院に向かう。五十年前民族解放当初に、大学として建てられた有名な学院である。学生は二千五百人で二十七民族

がいる。学院の中には十一の専門課程があり一年から五年のコースがある。また働きながら学ぶ夜間学生の課程もある。ここを卒業した学生はそのほとんどが、それぞれの民族地区に帰省し国づくりの中心になるという。ここをでてから蘭州市郊外にある雁灘郷という農村をたずねる。ここはモデル農村であり、果物と野菜の農産加工所があり工業導入も行われるなど農工一体の村である。また農民自身で食品加工所を建設し余剰労働力を利用して特産品づくりも行われている。ここを出てから蘭州市実験幼稚園をたずね英才教育ぶりを見学。全寮制で日曜日だけ親元に帰すというもので、徹底した幼児の英才教育であった。午後六時半蘭州での最後の夕食をすませ特別寝台車で西安に向かう。汽車に揺られながら日記を書く。



蘭州市実験幼稚園で熱烈歓迎をうける



まちの話題

みなさんの地域の、話題、出来事などお知らせください。必ず取材にでかけます。めずらしいことやおもしろいことは新聞やテレビに紹介します。(広報係)

優れた技量を発揮

古関くんが本荘市由利郡技能競技大会で優勝



優勝カップと賞状を手に古関くん

このほど本荘市由利総合技能センター(本荘市石脇)で開かれた第23回本荘市由利郡技能競技大会で、建築部門・青年の部に出場した古関英幸くん(24歳・松柴)が見事優勝、優れた技量に関係者の注目を浴びました。

同大会は、建築、左官、板金、塗装など、各部門ごとに日ごろ磨き上げた「職人」としての腕前を競い合うもので、建築部門・青年の部には本荘市由利の若い大工7人が参加、「廻り階段」の製作に仕上りや早さを競い合いました。

古関くんは、秋田職業訓練校を昭和56年に卒業後、町内の工務店で大工として腕を磨き続けていたもので、「今後はもっと腕を磨き、全国大会をめざしたい」と張り切っています。

新春将棋大会結果

(1月3日・老方館・参加15人)

優勝▼小野 裕明さん(宿)

準優勝▼阿部 力さん(本荘市)

第3位▼佐々木忠夫さん(中通)

第9回囲碁大会結果

(1月15日・役場日本間・参加15人)

優勝▼小松 昭作さん(下小路)

準優勝▼小松 佳和さん(田代)

第16回職場対抗バレー大会結果

(1月24日・健康増進センター・参加12チーム)

優勝▼大沼組チーム

準優勝▼東幸自動車チーム

第3位▼小番製材所チーム

全町室内綱引き大会を開催

町公民館主催「全町室内綱引き大会」が、2月6日(土)午後6時30分から健康増進センターで開かれます。試合は、男女別8人を1チームとし、トーナメントの3本引きで行われます。

出場申し込みは町公民館☎69-2311で受け付けています。詳しいことは自治会長に要綱をお届けしていますのでお問い合わせください。

畜産講演会

佐藤秀一農協五連会長が講演

本町恒例の「畜産講演会」が今年も2月13日(9時~15時)有鄰館で開かれます。今回の講師は秋田県農協五連会長の佐藤秀一氏で、演題は「畜産の現状と将来展望、農業・農村の活性化について」です。参加を希望される方は、各集団組合長・協同班長を通じて、昼食・懇親会費用として一人千円を添え2月5日まで役場産業経済課に申し込んでください。

縄ない競争は 歩さんが優勝 老人と子供のつどいを開催



お年寄りの指導で縄ないに挑戦する子供たち

ことぶき大学生と小学四年生を対象とした「老人と子供のつどい」が、1月8日高瀬小学校体育館で開かれました。このつどいは、創作活動で郷土愛を深めながら、ゲームでお年寄りといっしょのふれあいを築き上げようと、町教育委員会が9年前から開いているもので、今年は百80人が参加。子供たちはお年寄りの指導で縄ないやお手玉作りに挑戦したり、一緒に遊んでの室内ゲームには心地良い汗を流しました。特に、縄ないは初体験で四苦八苦する子供がほとんどでしたが、なかにはとても上手になう子供もいて、お年寄りをびっくりさせていました。また、縄ないのあとは、縄ない競争も開かれ、八塩小学校4年生の安倍歩さんが群を抜いた早さで優勝しました。

バレーボールで 新年のあいさつ



和気あいあいのなか、熱の入ったプレーを展開

大琴自治会では新春恒例の家庭バレーボール大会を1月5日大琴小学校体育館で開きました。これは、となり近所の新年の顔合わせも兼ね、それぞれの親睦と地域全体の和を広げようと9年前から開いているもので、地域の行事としてすっかり定着しています。今年も10組あるとなり組が2組ずつでチームをつくり5チームが参加して行われました。この日は応援団も含め2百人余りの大琴地区住民が参加し、新年のあいさつを交わしながら組み合わせに従いプレーを開始。和気あいあいのなか熱の入ったプレーを繰り広げ、競技終了後はチームごとに分かれ新年会を行いました。

みんなのひろばは、みなさんに登場していただくページです。
ヤングレポート、われら農業人、お母さんの生活日記、お
達者くらぶなど、自薦、他薦でも結構ですので、広報係まで
お知らせください。

みんなの ひろば

「町民になりました よろしく」

岩井 愛子さん
(蔵新田・31歳)



「スーパーマーカー
ットなくて不便」
昨年十一月、大内町から蔵で
寿司店を経営する岩井克己さん
に嫁いでこられた愛子さんです。
十五年前には羽後交通にバスガ
イドとして勤務、当時定期バスの
車掌として本町にたびたび訪れ
ており、「当時から見ると道路
がよくなり、今では「山奥」と
いったイメージがなくなりました
」と、東由利町についての知

識の一端を語ってくれました。
克己さんとはバスガイド当時か
らの知り合いで、十五年間とい
う長い交際の末の結婚だそうで
す。
東由利町の住民となつて愛子
さんは、「商売柄、スーパーマ
ーケットがなくて不便です。小
さくても一通りの物がそろって
いる店があったら、もっと住み
良い町になると思います」とス
ーパーマーケットの立地を強く
望んでいました。



絵・しばたえみこさん
6さい・みどり保育園

わたしのあかあさん

ちびっこの国

— テーマ —

3学期に
がんばりたいこと



かずなり
小野和成くん
八塩小・2年

ぼくは、3学期にがんばりたいことは、ぎょうぎです。2学期は、先生に「ぎょうぎがわるい。ぎょうぎがわるい」と何回もいわれてしまったので、3学期はがんばりたいとおもいます。

つぎにがんばりたいことは、そうじのしかたです。今までのあいだに、そうじがうまいといわれたことはありません。それで、3学期にはがんばりたいとおもいます。もうふたつがんばりたいことは、ワークスペースでプロレスをしないことです。2学期は、ワークスペースでプロレスをしてさわいでいたけど、3学期はしないようがんばります。もうひとつは、けんかをしないことです。いつもごうくとけんかをしてたので、3学期はけんかをしないよう、がんばります。

ご利用ください

林産物処理加工施設

手持ちの木の切株を使って
テーブルを造りたい、部屋
の間取りに合わせた家具を造
りたい、木材の切断や刃物
の研磨をしたい、などと考
えている方はいませんか。「林
産物処理加工施設」では、こ
のような要望にも応えていま
す。

アイデアを寄せて：

また、同施設を利用し、八

職人で構成されている八杉会
(嶽石徳二郎会長) などへの
委託で利用していただくこと
にしています。



工芸品を試作中の八杉会会員

林産物処理加工施設は、町
の林業振興の一施策として、
昨年横渡に建てられ、町森林
組合が運営しているもので
が、同施設の利用拡大のため
町民個々の木材加工需要にも
応えることにしているもので
す。加工作業等は、個人に任
せることもできますが、経験
のない人の利用については安
全性等を考慮し、町内の建具

ヤングレポート

(45)

町の特別養護老人ホーム東光苑に臨時事務職員として勤めている直子さんは、昨年秋田経済法科大学を卒業、「司法書士になりたかったんですけど、四人姉妹の長女ということもあって、家に引き止められました」と、心残りの表情で心境を話していました。父母、祖父母との六人



佐藤 直子さん・下小屋
23歳・十内さん長女

暮らしで、「家族を大切にしたい」と話すことばから、心の優しさが感じられます。自分の性格について「無口でおとなしいとよくいわれますが、ほんとは大らかな、こせこせないタイプなんです。でも順応性に欠けるのか、感情をすぐ表面に出せないんです」と話す直子さんは、「三度の食事は欠かさない」というしつかりもので、「学生と社会人の一番の違いは、学生時代はやり直しがきくけど、社会人になると一日一日の積み重ねがとても大事です」と話すことばからも、しつかり人間ぶりが伺われました。そんな直子さんの今年の抱負は、「あんまりあせらないで、マイペースでがんばります」だそうです。最後にひとこと：「婿さん大募集中です」。

大丈夫？あなたの火の用心

春の全国火災予防運動

2/29 ~ 3/13

寒さが身にしみ込む季節になりました。何かと火を使うことの多いこの時期は火災が発生しやすいくなります。二月二十九日からは、春の全国火災予防運動が始まりますが、大丈夫ですか、あなたの火の用心。少しでも気になったら火の元を確かめる、こうした

日ごろの努力が生命と財産を守ります。

一日に四億一千万円の財産が灰に

昭和六十一年に発生した全国の火災件数は六万三千二百七十二件で、一時間に約七件の火災がどこかで起きていることにな



りますから驚きます。火災による死者は、放火による自殺者を除くと千二百五十七人。このうち、六十一歳以上の高齢者と、五歳以下の乳幼児および病氣、身体不自由の人が全体の半数以上を占め、出火の際

とつさに逃げられない弱者の死亡が目立っています。また、火災による損害も大きく、一日当たり約四億一千万円の財産が灰になった勘定です。

出火原因の大半はあなたの注意で防げる

ところで出火原因ですが、火の不始末などが大半を占め、たばこの火をはじめ、たき火、こたろ、火遊び、ストーブなどいづれも一人一人が気をつければ防げることばかりです。

火の用心七つのポイント

- 1 寝たばこや、たばこの投げ捨てをしない。
- 2 子供は、マッチやライターで遊ばせない。
- 3 風の強いときは、たき火をしない。
- 4 天ぷらを揚げるときは、その場を離れない。
- 5 家のまわりに燃えやすいものを置かない。
- 6 ふろの空だきをしない。
- 7 ストーブには、燃えやすいものを近づけない。

2/20(土)・21(日)
大平スキー場 案内

主催/東由利町観光協会

大会内容

- 競上耐久レース
- 小中学生ウルトラクイズ
- 大平スキー大会
- 素人モデル撮影会

お問い合わせ先
東由利町観光協会 観光協会事務局
0194-63-2110

詳しくは後日チラシでお知らせします。

杉会が茶筒や小物入れなどの工芸品を試作中で、「使用者に喜ばれる製品を造り、町の特産品にも」と意欲を見せているほか、工芸品の受託製作も行っており、「こんな物を作って欲しい」といった製作委託や、「こんな物を作ったらどうか」といったアイデア

アがあつたら是非連絡をほしい、としています。

◆ 林産物処理加工施設の利用及び工芸品等の製作委託・アイデアの提供についての連絡先 ◆
東由利町老方字後田・東由利町森林組合 (☎・六九一二三二五)



④

皆ママでやってるよ！

一月二十五日現在の出稼ぎ者(町出稼相談所届出者)は四百七十一人で、前年同期より三十六人少なくなっていますが、それでも三世帯に一人の割合で出稼ぎに出ており、留守を

あずかる家族の方たちは、無事で元気な就労を心から祈っています。今号の「ふるさとへのたいり」では、出稼ぎ先からいただいた三人の方々のお便りを紹介します。

晩酌やりながら転作の話しています

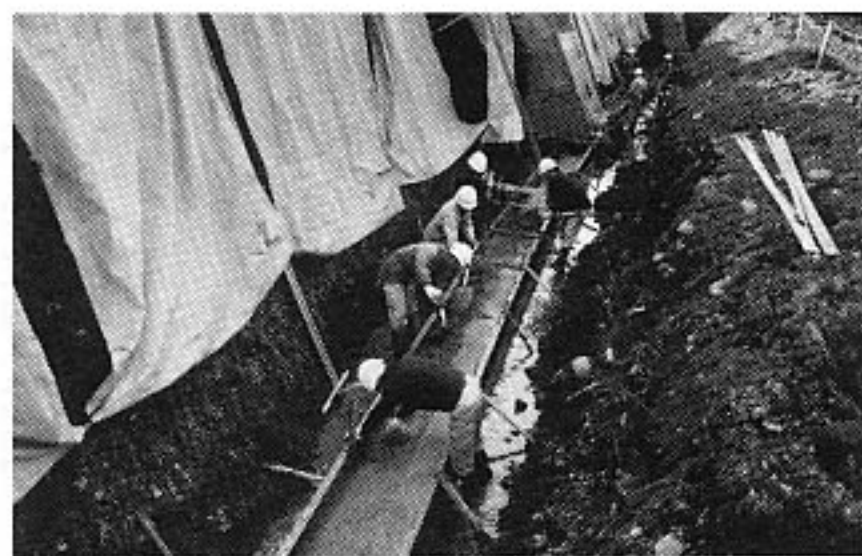
長谷山明人さん・地下の沢

石井建設(神奈川県足柄上郡中井町)

十一月より就労して二か月になります。ここ神奈川県足柄上郡中井町は、昨年十二月

今年一月中旬までは日中の気温が十二度～十五度で、朝は霜の降りることもあります。が、ほんとうに暖かい所です。中井町は、東由利町と同じ廻りは山、田んぼ、畑で、農家の多い所です。

私のグループには東由利町の八人、平鹿方面の二人、雄勝方面の十三人がおり、みなで会社の近くの宿舎に入っています。仕事は、生コン車の運転を三人が担当しているほかはみんな一般土木作業員で、今年は道路改良工事、パイパス新設工事のほか、町の水道本管工事なども行っています。ほとんど町内での工事が多く、作業の内容はブロック積み、側溝入れ、型枠造り、鉄筋組立などです。みなで安全作業には力を入れ、声をかけあい、だれ一人ケガをせず、またカゼもひかず一



安全第一に、一生懸命頑張っています

早出はつらいが、みんな元気です

小松 金悦さん・下通

ディーゼル機器(埼玉県鴻巣市)

西に遠く秩父の山を望む、ここ、埼玉県東松山からお便りします。便によりますと、東由利は今の時期昨年に続く暖冬で、降雪も少ないようですが、年寄りや女、子供を残して働きに出ている私たちに、雪が少ないほど安心なこ

とはありません。

さて、ここには東由利から八人が働きにきております。会社は東松山市の中心部にあり、駅から歩いて十分くらいのところ。従業員数は東由利町の人口にも匹敵する約五千人で、造っている物は主

に自動車などに使われているディーゼルエンジンの心臓部ともいえる燃料噴射ポンプや、カーブライナーなどです。私たちも社員と同じようにミクロン(千分の一)単位の精密な機械加工や、組み立てなど、危険の少ない作業に従事しています。今のところ会社も、国の公共事業拡大策の波及によるトラックや建設機械などの需要増にともない、フル生産の状態が続いています。このため、私たち出稼者のほか造船など関連会社からの応援も含め、四百人くらいの短期雇用の人たちが働きにきています。勤務時間も交替制で、早出のときは朝五時半起き、遅いときは夜中の十二時前の勤務で、寒い朝の早出はつらいときもありますが、みんな元気で働いておりますのでご安心ください。

私たちも残すところ二か月半。病気やケガ、そして事故などのないよう頑張ります。皆様も、暖冬とはいえ寒さの厳しい日々もあるかと思われまので、どうかカゼなどひかれないうちにご注意ください。

保健婦の やわやわ ヘルスイク

見直してみませんか
日々のライフスタイルを!!

保健婦・伊東志津子

雪の少ない山里の冬景色は、いつもの年と違ったおもむきで、静かなたたずまいをかもしています。この冬も、愛育班員さんの協力ですすめられている健康相談では、「がんを予防する日常生活」と「運動」をテーマに学習しております。会場では、集まったみなさんが底ぬけに明るく、ストーブを囲んで「健康長寿の秘訣」が話し合われます。折をみて軽い体操を試みますと、真剣に喜んでやってくれるのですが、両腕が頭上にあがらない、あがっても交叉して両手を組めない、腰が全く伸びないなどといふ体の不調が重なっている方がおられます。人は誰でも易い方に流されがち。小さなことでも続けることが効を奏することを知りながら、つい時間がない、めんどうだからと逃げてはいないでしょうか。成人病は、すべて日常の生活から生じます。丹精込めた鉢植えの花が生き生きとした表情で応えてくれるように、人の体も日々の心がけと手入れ次第で成果が望めるのです。いつまでも若く美しく希望を抱いて生きるために、今一度暮らしをみなおしてみませんか。

税金の申告相談は次の日程で

税金の申告相談を次の日程で行います。申告書は、町・県民税等の賦課資料となる大事なものです。昭和62年中の収入明細や支払証明書等を準備し、正しい申告をしましょう。出稼ぎ者や会社員等で勤務先から源泉徴収票を交付されている方は、確定申告をすることによって、納め過ぎた所得税が戻されることもあります。詳しくは役場税務係にお尋ねください。

			午前（9時～11時まで）		午後（1時～3時まで）	
月	日	曜	自治会名	会 場	自治会名	会 場
2	8	月	黒沢・大台	黒沢会館	祝 沢	祝沢会館
			板 戸	板戸会館	新 沢	新沢会館
	9	火	横渡・蔵	大 蔵 館	岩館・新田・宮の前	大 蔵 館
	10	水	船木・畑村・奥ヶ沢	船木会館	宿	宿 会 館
	12	金	大琴(上・中)	高 瀬 館	大琴(下)・下吹	高 瀬 館
	15	月	小 倉	小 児 童 館	中の沢・高村	小 児 童 館
			野田・新処	克 雪 センター	十二の前・桂台	克 雪 センター
	16	火	三税申告相談	有 鄰 館	三税申告相談	有 鄰 館
			新 町 (1組～4組)	〃	新 町 (5組～8組)	〃
	17	水	高 屋	高屋会館	土場沢	土 場 沢 館
			沼	沼 分 校	杉 森	杉森会館
	18	木	寺田・茂沢・島	役 場	湯出野・上里	役 場
	19	金	横小路・下通	〃	上通・中通	〃
	22	月	家の下・下小路・宇戸坂	玉米支所	館西・八日町・五海保	玉米支所
	23	火	館合新田(上)	新田会館	館合新田(中・下・跡見坂)	新田会館
			山 崎	山崎会館	久 保	山崎会館
3	24	水	松 柴	松柴会館	須郷田	須 郷 田 館
	25	木	大吹川・須郷	大 吹 川 館		
			袖 山	袖山会館	高戸屋・下小屋・時雨山	時 雨 山 館
	26	金	石 高	住吉会館	田 代	住吉会館
	29	月	地下の沢・葎沢	八 塩 館	黒 淵	八 塩 館
	1	火	向田・智者鶴(松台除く)	向田会館		
			泡の淵・松台	泡 の 淵 会 館		
	2	水	所得税	役 場	所得税	役 場
	3	木	所得税	〃	所得税	〃
	4	金	所得税	〃	所得税	〃
	7	月	所得税	〃	所得税	〃

帰郷前温泉に一泊していききたい

阿部 喜円さん・十二の前
加納工務店（名古屋市中川区）

昨年十一月中旬以来、竹中工務店の系列会社である加納工務店で、型枠部門の仕事をしていきます。現在、東由利町の十二人のほか他町村から五人の計十七人で、私をリーダーに阿部班ということになって二班に分かれて型枠作業にあたっています。



東由利町出稼ぎ者の皆さんと長島温泉の作業現場にて

屋割りは十畳間に四人で、食事は全部外食です。作業現場は木曽川最下流の三重県長島町長島温泉で、伊勢湾台風の時は大変な被害が出たところだそうです。現場前には「水郷ホテル」という大きなホテルがあり、朝出勤すると大型バスが列をなしているときもあります。我々も帰郷前にぜひここに泊りたいと皆で話しています。作業内容は、鉄筋部や鉄骨部にコンクリート付けする前の型枠造りですが、素人のため大変で、お互い事故には十分注意して働いています。現場へは朝六時に起床、食

事後六時五十分にはワゴン車にて宿舎出発、八時十五分に到着です。体操、点呼、朝礼、ミーティングの後、八時半から作業開始です。朝礼には各種の職人たちが約三百人が一堂に集合、その様には勇壮さを感じられます。五時には仕事を終え、宿舎へは六時に到着します。夜は今年の減反はどうなるのか、岩館バイパスはどういったら理想的かなど、部屋の者どおしで町の話しに花を咲かせます。何といっても健康で安全就業が第一です。残る二か月半を元気で働くことを約束して筆を置きます。



⑩

ひろのぶ
小松弘伸ちゃん
大台・10か月

仁さんと
聖子さんの長男

戸籍だより

(12/21~1/20届出・敬称略)

お誕生
おめでとう

小松 清香(徳重・三女) 下通

大日向志穂(健男・二女) 大琴

小野雄太郎(誠・長男) 高屋

佐藤 麗菜(耕治・長女) 横小路

ごめい福を
お祈りします

小野徳三郎(78 ミドリ・夫) 上里

小松サヨミ(70 彦太郎・母) 山崎

遠藤マサノ(83 吉雄・母) 横渡

小野 キミ(60 留太郎・妻) 蔵

1月1日から民法の一部改正法が施行され、養子法等の一部が改正されています。また、養子を実子と同じ扱いにする特別養子制度が創設されました。詳しいことについては住民係へお問い合わせください。

編集室から

▶ごめんなさい。1月号の座談会記事で、阿部陽悦さんと鈴木富男さんの写真説明が逆でした。おわびして訂正します。▶今月の「ふるさとへのたより」は出稼ぎ先のグループリーダー3人をお願いして、仕事でお疲れのところにもかかわらずお便りをいただきました。ありがとうございました。また、阿部喜円さんには遠い名古屋から何度も電話をいただいたほか、写真を送付するためカメラを買ったということで、大変心苦しく思っています。すみませんでした。



オオマツヨイグサ (アカバナ科) ③⑤

北米原産といわれます。明治初年日本に入ってきたもので、繁殖力が強く、鉄道の沿線から各地に種子が運ばれ、本町にも路傍に多く見られます。茎は1m以上にもなり、葉は長楕円の披針形で互生し、根元のほうの葉は倒披針形で車輪状に広がります。葉には鋸歯があり、細かい毛があります。6月から9月にかけて黄色の四弁花が夕方開き、朝しぼみます。(写真は寺田で朝に撮影) 和名は日没後(宵のころ)咲く大型の花ということからつけられた名で「ツキミソウ」という人がいますが、「ツキミソウ」は花が白色で、あまり野性化していません。「待てど暮らせど来ぬ人を、宵待草のやるせなさ……」と竹久夢二が歌ったのは、この「オオマツヨイグサ」のことでしょう。根に薬効があり、日乾ししたもの10gを水3合で半分に煎じてノドの痛い時飲むとよいといわれています。(小松忠正)

催し

3日・館合地区歯科講演会(館合集会所・14時)

5日・永慶保育園入所者説明会(永慶保育園・9時)

6日・全町室内綱引き大会(健康増進センター・18時30分)

7日・全町たこあげ大会(大琴下・13時)

10日・みどり保育園入所者説明会(みどり保育園・9時)

12日・健康大学(有鄰館・13時)

13日・機能訓練教室(有鄰館・13時)

29日・法内地区成人病予防学級(克雪センター・9時30分)

26日・健康大学(有鄰館・13時)

25日・妊婦検診(有鄰館・13時)

24日・妊婦検診(有鄰館・13時)

23日・4か月児クリニック(本庄保健所)

20日・大平雪まつり

19日・1歳半児健診(有鄰館・13時)

15日・住吉地区栄養改善講習会(八塩館・9時30分)

13日・畜産講演会(有鄰館9時)

町民の声を町政に
町長面会日 今月 20日

町の冬二統計 1月 (12/1~12/31)

●人口()は前月比 ()は1月から累計

・男 2,980人(△2)

・女 3,090人(5)

・計 6,070人(3)

●世帯数 1,454世帯(1)

●出生 6人(53)

●死亡 6人(51)

●転入 7人(97)

●転出 3人(167)

●結婚 3組(21)

●離婚 0組(2)

●火災発生件数----- 0件(3)

●救急車出動件数--- 4件(93)

●ゴミ処理量----- 28t (409)

●健康増進センター利用者数 377人(9,041)

●町営テニスコート利用者数 0人(2,530)

●有鄰館利用者数--- 1,037人(15,628)

●朋楽荘利用者数--- 535人(8,874)

●交通事故発生件数 1件(19)

・死者----- 0人(0)

・傷者----- 1人(18)

●飲酒運転違反者--- 0人(2)

●酒気帯び違反者--- 0人(6)